

# 公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構

## 2019年度 研究事業計画書

米国と中国の大国間での覇権争いが表面化し、世界は、戦後秩序の転換期にある。これまでグローバル化をけん引してきた欧米諸国は、生活に不満を抱く人々への有効な政策を打ち出せず、ポピュリズム勢力の拡大を招いている。国内政治を優先せざるをえない西側諸国の姿勢は、世界秩序の形成にも影を落とすこととなろう。

米中問題の行方は、アジアに位置する日本にとって極めて重要な課題である。日本は、グローバル化、第四次産業革命という各国共通の要因に加え、少子高齢化、人口減少や社会保障費増大に伴う巨額の財政赤字にも直面している。これら国内外の切迫した課題に対応していくことが求められている。

こうした現状認識のもと、NIRA総研はこれまでの研究をさらに深化させ、社会のニーズに応える研究を引き続き実施する。そして国民の合意に向けた、実効性ある政策提言を発出する。

### 1. 研究調査事業

NIRA 総研の研究調査事業の長期方針は、自立 (independence) と自律 (autonomy) の 2 本柱を基本とし、民主主義と市場経済が円滑に機能することを目指すことである。

そのため、民主主義と市場経済の弱点を最小限に抑え、長所を十分に伸ばすための日本のシステムの改善について、効果的な政策提言を行う。

#### ① 民主政治と市場経済

経済社会におけるグローバル化・デジタル化の進展は、既成政党の支持基盤であった中間層に多大な影響を与え、ひいては政治的疎外を生んだ。他方、デジタル化は、決定プロセスの変更を通じて、民主政治の意思決定を刷新する可能性を秘めている。

本年度は、技術革新を前提とした民主政治のあり方について検討を行うとともに、日本では長期政権が続くなかで、今後の政党政治の在り方について検討を行う。

## ② 市民社会と地域経済の自律

地域経済の自律的発展のためには、社会の信頼を基礎に多様な人々が集結し、民主政治に基づいて合理的な意思決定を行っていくことが不可欠である。地域での民主政治と市場経済が両輪として回るための仕組みが求められている。

本年度は、住民の地域に対する意識を醸成するための方策について検討を行う。また、首長のリーダーシップの発揮の在り方について、分析・検討を行う。

## ③ 科学技術と経済社会システム

デジタル技術は、IT産業のみならず、社会の在り方を根底から変えつつある。科学技術がもたらす社会的な影響についてプラス面、マイナス面からの分析を行い、デジタル時代にふさわしい社会システムに移行していくことが必要である。

本年度は、今後増加すると見込まれる個人自営業者のため制度のあり方、デジタルによる業務再編の状況について分析を行うとともに、日本企業のIT化への対応の遅れについて歴史的な考察を行う。

## ④ 日本経済の持続的成長と政策運営

少子高齢社会が進むなかで日本経済が持続的に成長していくためには、財政の健全化、社会保障改革を実現するとともに、効率、かつ安定した経済運営が不可欠である。また、ITの進展を背景とした金融セクターの変化が経済社会に与える影響は計り知れないものであり、適切な政策運営が求められる。

本年度は、財政や社会保障についての将来の姿を提起するとともに、寿命の長期化などの社会的要因が財政に与える影響について分析を行う。また、税制が日本経済の競争力に与える影響について分析する。

## ⑤ アジア経済における日本の戦略

中国が一带一路を通じてアジア地域に中国経済圏を形成しつつあるなかで、アジアのなかの日本として中国との関係をどう築くのか。危機感をもって考える必要がある。

本年度は、アジアにおける日本の戦略について検討する。また、中国のベンチャー企業に着目し、資金面の観点から実態を把握する。

## ⑥ 2020 記念フォーラムの実施

東京オリンピック・パラリンピックに合わせてフォーラムを開催し、われわれが直面する現状の課題を把握するとともに、将来に向けて市場経済、政治、そして社会の在り方の道筋を示すことで、変革期にある世界の安定のためのメッセージを発出する。

## 2. 政策論議を深めるための情報発信

日本・世界が直面する広範な政策課題について、問題の核心を分かりやすく提示する。ネット等を通じてより効果的な情報発信に努めるとともに、海外向けの発信を強化する。

### ① オピニオンペーパー

NIRA総研が擁する有識者のネットワークを活用しつつ、的確かつタイムリーな政策提言を行い、世論を喚起する。

### ② わたしの構想

重要な課題について、複数の識者の見解を示すことで論点を多面的、具体的に分かりやすく提示する。

### ③ グローバル・マイ・ビジョン

各国に共通する重要課題について、内外を代表する複数の識者の見解を示すことで、論点を多面的かつ具体的に分かりやすく提示する。海外向けを中心に広く発信する。

### ④ SPACE NIRA

重要な課題を取り上げ、複数の外部有識者の異なる見解を、専門家たる第三者が中立の立場から評価し、海外向けを中心に広く発信する。

### ⑤ その他

政策レビューでは、各界で活躍する専門家との対談等を通じ、多面的な視点から重要課題を明らかにする。また、モノグラフシリーズでは、機構内外の研究者が、重要な課題について多角的・多面的な独自の調査・分析を行い、問題を提示する。

以上